

平成22年度 (社)東京電業協会設立80周年記念

第78回 野球大会

扶桑電機(株)が3年振り2回目の優勝に輝く。



優勝 扶桑電機株式会社チーム

(社)東京電業協会主催による協会設立80周年記念・第78回野球大会が4月30日(金)から5月2日(日)まで3日間にわたり明治神宮外苑軟式球場において、日刊建設通信新聞社、日刊建設工業新聞社、日刊建設産業新聞社、日本電気協会並びに電設工業健康保険組合の協賛により開催されました。

大会は3日間とも絶好のコンディションに恵まれ、初日(30日)の開会式は午前8時15分より高島副会長の挨拶、前回優勝の東光電気工事(株)から優勝旗返還並びに大金洋祐選手による選手宣誓が行われた後、高島副会長の始球式により熱戦の火ぶたが切られました。

1、2回戦は接戦あり大差ありで各チームとも大変に大会を盛り上げてくれました。

2日目の準決勝は(株)協和エクシオと扶桑電機(株)、前年度3位の日本リーテック(株)と日本電設工業(株)がそれぞれ対戦し、7対3で扶桑電機(株)が、8対7で日本電設工業(株)が勝利し決勝に進出しました。

最終日の決勝戦は快晴の下、午前10時より行われ、2回裏に日本電設工業(株)が3本の安打を重ね1点先制、対する扶桑電機(株)も3回表に四球の後、内野ゴロで2塁にランナーを進め、ライト前

適時打で同点とした。その後は両チームの投手戦が続き内外野の再三のファインプレーもあり、6回裏まで1対1の同点のまま緊迫するゲーム展開となりました。

しかし、7回表に扶桑電機(株)が四球を絡め三塁打を含む3本の安打により3点を加えて4対1とし、9回表にもエラーと四球、センター前適時打で2点を追加して、最終回の日本電設工業(株)の攻撃を無得点に抑え、6対1で見事3年振り2回目の優勝を果たしました。

決勝戦の後、表彰式が行われ井上副会長より扶桑電機(株)に賞状・優勝旗・優勝杯、準優勝の日本電設工業(株)に賞状・準優勝杯、3位の日本リーテック(株)と(株)協和エクシオに賞状・3位杯がそれぞれ授与されました。

個人賞には最優秀選手賞に扶桑電機(株)牧野克友希選手、敢闘賞には日本電設工業(株)常見敦史選手が選出されました。

最後に大会運営に携わって頂いた役員関係者の方々には大変お世話になり感謝申し上げます。また、参加した選手の皆様、大会運営にご協力有難うございました。

(野球部代表世話人 松田知仁)

決勝戦 得点結果

チーム	回	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
扶 桑 電 機		0	0	1	0	0	0	3	0	2	6
日本電設工業		0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

個人賞

最優秀選手賞 扶 桑 電 機 (株) 牧野克友希選手
敢 闘 賞 日本電設工業(株) 常見 敦史選手



平成22年度(第78回)野球大会組み合わせ表

(球場名)

(日) 日の丸球場

(桜) 桜球場

(ヒ) ヒマラヤ球場

(ケ) ケヤキ球場

開催日 4月30日(金)~5月2日(日)

場 所 神宮外苑軟式球場

